

※この枠内にアイデアをまとめてください。枠内に記載されたことが公開の範囲です。

アイデア作品説明用紙 (整理番号 5019)

アイデアの名称 多機能な収納部を有する組立式防災頭巾

①アイデアの説明図

アイデアの説明図と符号の説明を裏面に挟んでいただきます

②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

アイデアの目的、しくみ、効果の説明をA4紙に17-702で書いていただきます
直しく願います

個人情報

【住所】
【氏名】
【TEL】

高知県四万十市馬前町 番6号
江 12 初 恵
0990 34 6356

(注) 個人情報は、公開できる範囲で書いてください。

特許第4690491号

<アイデアの名称> 多機能な収納部を有する組み立て式防災頭巾

<アイデアの説明図>

【図面の簡単な説明】

【図1】 頭巾の裏面の平面図

【図2】 頭巾の側面図

【図3】 使用状態の前方斜視図

【図4】 使用状態の後方斜視図

【符号の説明】

A 本体

1 頭頂部

2 開口部

3 収納部

4 収納袋

5 紐の挿入部

6 底

7 幅広のゴムテープ等

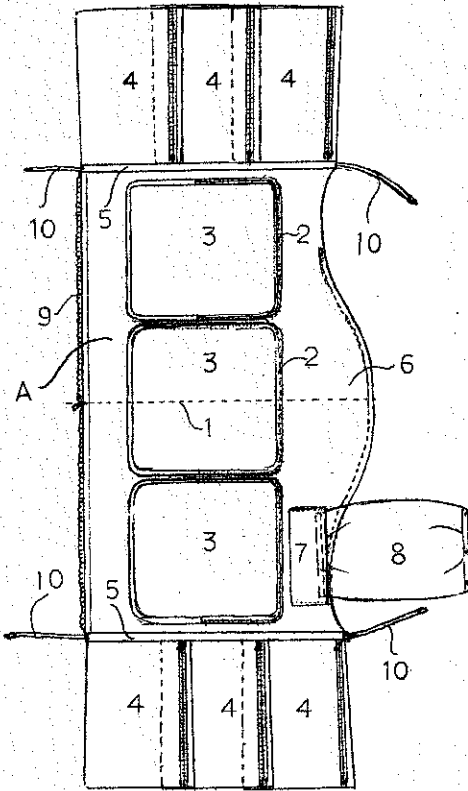
8 マスク

9 開閉の為のファスナー

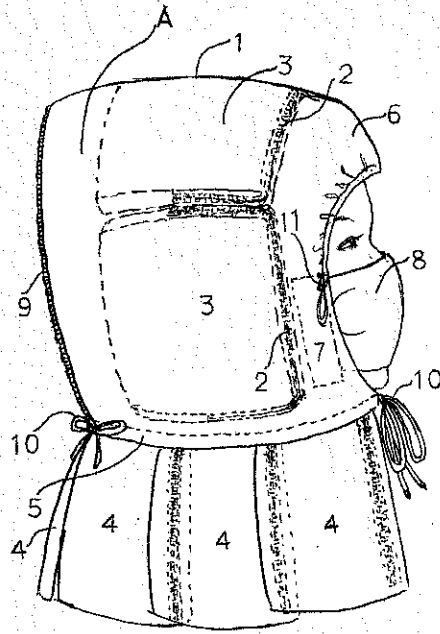
10 紐

11 ストッパー

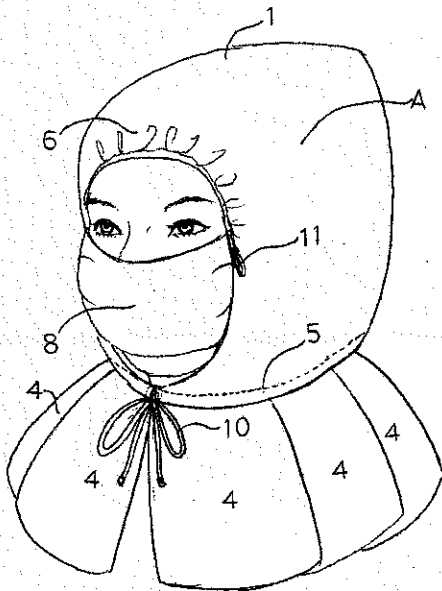
【図1】



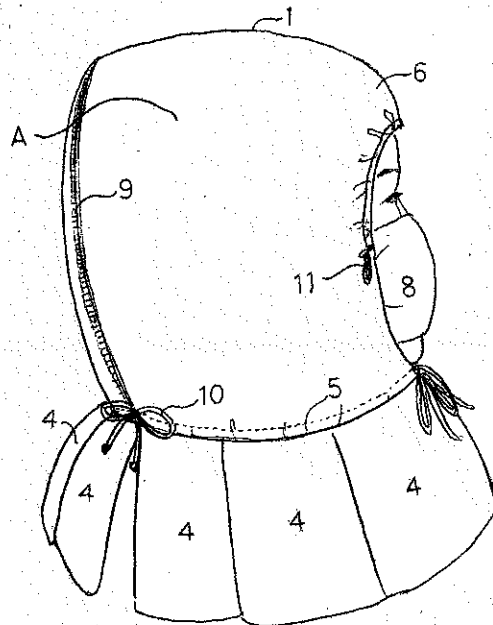
【図2】



【図3】



【図4】



特許第4690491号

☆多機能な収納部を有する組み立て式防災頭巾

アイデアの <目的> <しくみ> <効果> の説明

<目的>

非難時に頭部肩部を保護し、非常時の必需品を収納する収納部を複数有する。組み立て式防災頭巾を目的とした。

<しくみ>

- ・ 難燃性の用布で平面状に展開可能であって装着時に立体的頭巾となる頭部本体の裏面に、頭頂部や両側頭部にかけて複数の収納部を僅かの間隔を置いて設け、緩衝材として下着、タオル等を収納し、収納口は開口部を広く設け、ファスナー等で開閉する。季節に合せ肌着やタオルなど収納部に合わせて折りたたみ出し入れしやすいようにする。
- ・ 収納部を複数設けたのは、頭部への衝撃を防ぐ為と、頭部にかかる重さの負担を考へて収納物を選び分けて入れる為である。収納部と収納部の間を僅かに間隔をおいて設けたのは、収納物による厚みを頭部に添って曲がりやすくする為である。
- ・ 頭巾本体の両端縁部（下辺）に、肩部を保護し肩に添いやすいように、個別の収納袋を重ねるように複数装着する。収納口は収納袋の側縁又は下辺に設ける。
- ・ 頭巾の裏面の下辺に紐の挿入部（首周りの付近）を設け、挿入部に通した紐を締めることにより頭部と肩部を落ち着かせ重さの負担を分散させた多機能な収納部を有する組み立て式防災頭巾である。
- ・ 頭巾に庇を作る為、用布の頭部前面を張り出し、用布の前側縁部より紐を通して締め、ストッパー等を利用して係止する。続きに頬から顎にかけてカーブして延長し、首を保護する。本体の後頭巾の開口している頭巾の後ろの用布の側縁に、頭巾の下辺の紐の挿入部より頭頂に向かって開くように、開閉の為のファスナーを装着する。被る時は前の紐を、首周りに添わせるようにして結ぶと、頭部と肩部が落ち着き、肩全

体に収納袋がかかり重さの負担が分散され体にかかる負担が軽減される

- ・ 頭巾の結び紐を解き、後頭巾の開閉の為のファスナーを引き上げ、庇を作る為に前頭巾の側縁部から縮めた紐を緩めて元に戻すと、頭巾が一枚の収納部つき用布となり、緊急時には小さな敷き布団の役目もする
- ・ 一枚の頭巾の用布を組み立て式にしたのは、収納する時平面形状にして収納物を出し入れしやすくする為である。緩衝材の役目をする下着やタオル等を収納するとき、収納部に合わせて下着等を折りたたみ、収納部はファスナー等により開口部をコの字型又はL字型に広く設け、出し入れしやすいようにする。
- ・ 収納部を複数設けたのは収納物の重さを加減する等、収納物を季節ごとに替えるなど選択するものを加減する為である。頭頂の収納部には、薄型プラスチックや紙シートを底に敷いてその上に緩衝材の下着などを収納するとより衝撃に強くなる。
- ・ 防災頭巾は平常時に組み立てて置き、収納物が頭部のみに負担が掛からないように、肩部の収納袋等に分散して収納し、頭巾の下辺（首周り）に紐の挿入部に通した紐を締めて結ぶと頭巾は頭部に収まり、収納袋は肩周りを保護し、重さも分散され、体への負担が少ない。平素から収納物を入れて準備し、過重にならないように加減しておく事が大切である。

<効果>

- ・ 震災等の緊急事態が発生した場合に、肌着や下着類、小銭、通帳番号の写し、健康保険の写し、薬、手袋、救急品その他緊急時に必要とするものを、平素から防災頭巾に設けた多くの収納部や収納袋に小分けて収納しておけるので安心である
- ・ 肌着や下着類等が、緩衝材として頭部や肩部を守り、複数の収納部や収納袋を個別に設けているので、頭部や肩周りを保護し、貴重品の収納に小分けして収納でき、体にかかる重さを分散できるので体への負担が少ない。
- ・ 当人にとっての必需品を軽く薄くして分散し、最少の必需品を日頃から収納して置けるので、いざという時に安心である。